東京ジャーミイ金曜日のホタバ

２０１２年3月２

クルアーンの忠告

親愛なるムスリムの様

今日のフトバでは、言葉のうち最も美しく崇高なものであるアッラーのご命令の中からあなた方にいくつか紹介したいと思います.

これらの章句はクルアーン・フード章の最初の１６節です。この章はマッカで掲示されました。耳を澄ませてこのクルアーンの節の意味を聞きましょう。

「アリフ・ラーム・ラー（この）啓典は、（英知によって）守護されており、また英明にして通暁される御方からの解明である。（それで言うがいい。）「アッラーの外誰にも仕えてはならない。本当にわたしは警告者、また吉報の伝達者として、かれからあなたがたに（遣わされた）。」あなたがたの主の御赦しを請い願え。そしてあなたがたは、悔悟してかれの許に返れ、（そうすればアッラーは）定められた時期までいろいろなよいものを享受させる。また功績の多い者には、それぞれ豊富に恵みを与えられる。だがもし、背き去るならば、わたしはあなたがたのために偉大な日の懲罰を恐れる。「あなたがたはアッラーの許に帰るのである。かれは凡てのことに全能であられる。」見なさい。かれらは（その敵意を）かれに隠そうとして、自分たちの胸をたたみ込んでいる。ああ、自分たちの衣を（幾重に）着こんでも、かれはかれらの隠すこと顕わすことを知っておられる。本当にかれは、胸の中の秘密をよく知っておられる。地上の凡ての生きもので、その御恵みをアッラーからいただいていない者はない。かれはそれらの居住所と寄留所を知っておられる。
凡てはっきりと書物に（記されて）ある。かれこそは玉座が水の上にあった時、６日の間に天と地を創造された御方。それはかれが、あなたがたの中誰が、行いに最も優れているか、明瞭にされるためである。だがあなたがもし、「あなたがたは、死後必ず甦されるであろう。」と言えば、不信心者たちはきっと、「それは明らかに魔術に過ぎない。」と言うであろう。もしわれが定めの時期まで、かれらに対する懲罰を延ばせば、かれらはきっと言うであろう。「何が（懲罰を）遅らせているのか。」ああ、それが到来する日、何ものも、それを避けられず、かれらは自分たちが嘲笑していたもので、取り囲まれるであろう。もしわれが、人間に親しく慈悲を施して味わしめ、その後それをかれらから取り上げれば、きっと絶望して不信心になる。だが災いに見舞われた後われがもし恩恵を味わしめると、かれは、「不幸はわたしから去ってしまった。」と言って必ず狂喜して自慢する。耐え忍んで、善行をなす者だけはそうではない。これらの者には、（罪の）赦しと偉大な報奨がある。あなたは恐らく、啓示されたものの一部を放棄したい（気持になる）であろう。そのためにあなたの胸は狭められてはいないか。それはかれらがこう言うためである。「どうしてかれに財宝が下されないのだろう。また何故１人の天使も、かれと一緒に来なかったのであろうか。」本当にあなたは１人の警告者に過ぎない。アッラーは凡てのことを管理される方であられる。またかれらは、「かれがそれ（クルアーン）を作ったのです。」と言う。言ってやるがいい。「もしあなたがたの言葉が真実ならば、それに類する１０章を作って、持って来なさい。また出来るならあなたがた（を助けることの出来る）アッラー以外の者を呼びなさい。」もしかれら（神々）があなたがた（の呼びかけ）に答えないならば、あなたがたはそれがアッラーの御知識からだけ下されたものであること、またかれの外に神はないことを知りなさい。それであなたがたは、心から服従、帰依するのか。現世の生活とその栄華を望む者には、われは現世のかれらの行いに対し十分に報いるであろう。かれらは少しも減らされることはないのである。これらの者は、来世の火獄の外に何もない者たちである。現世でかれらの成し遂げたことは実を結ばず、その行っていたことは、虚しいものになる。」